

プラザ抱樸 入居費用

月額費用

家賃：29,000円

公益費：5,940円(水道料・給湯料・町費)

生活支援費：2,160円

OFI賃貸保証料(継続)：349円(初回の1%)

その他初期費用

敷金：58,000円(家賃2か月分)

OFI賃貸保証料(初回)：34,940円(家賃＋公益費)

9

プラザ抱樸 居室



プラザ抱樸入居者の特徴

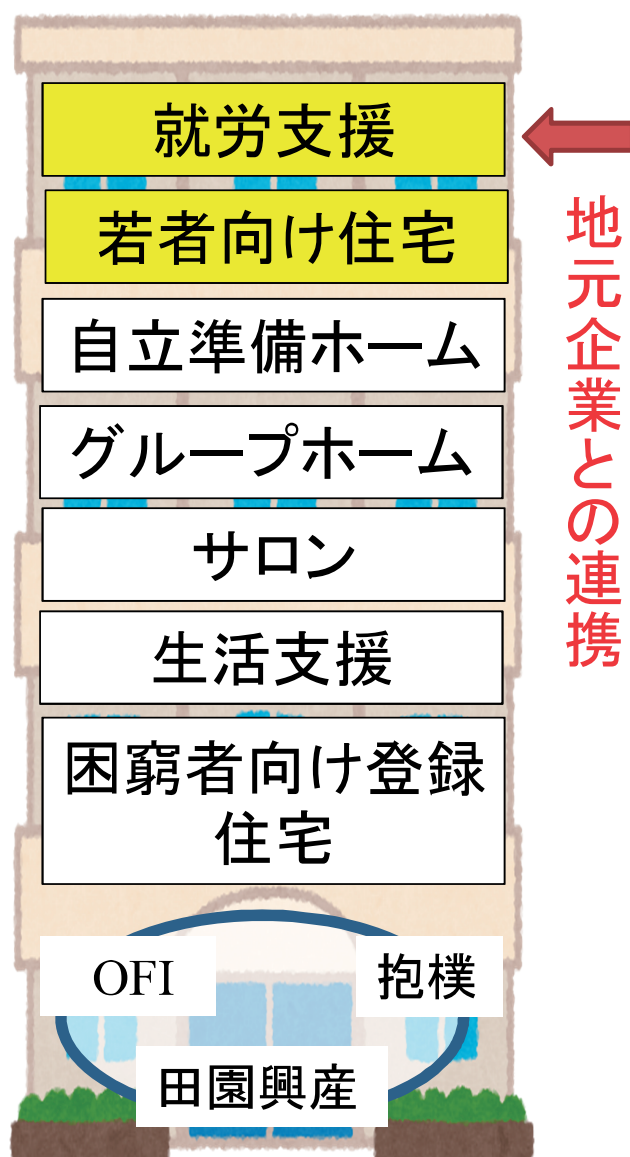
多様な入口、性別、年齢、収入、属性

- 1、相談経路 法人内19名、他機関10名
- 2、男女混合型 男性21名、女性8名
- 3、年齢構成(平均年齢54歳)
10代1名、20代3名、30代3名、40代6名、
50代3名、60代6名、70代5名、80代2名
- 4、収入源 生保(一部含む)18名、その他11名
- 5、属性 ホームレス、高齢、障がい、生活困窮、母子、DV・・・

→対象者を限定しない。

様々な課題、ニーズに対応できる制度横断型の「見守り支援付き住宅」のモデル。

就労支援付共生型住宅



第1ステージ「支援付登録住宅」

基本3点の支援

- ①登録住宅
- ②地域居住者への生活支援
- ③地域交流サロン

第2ステージ「共生型住宅」

- ①障がいグループホーム→2018/11開所
- ②自立準備ホーム

第3ステージ「若者支援・就労付共生型住宅」

- ①若者向け住宅(児童養護施設後など)
- ②就労支援

→地元企業との連携

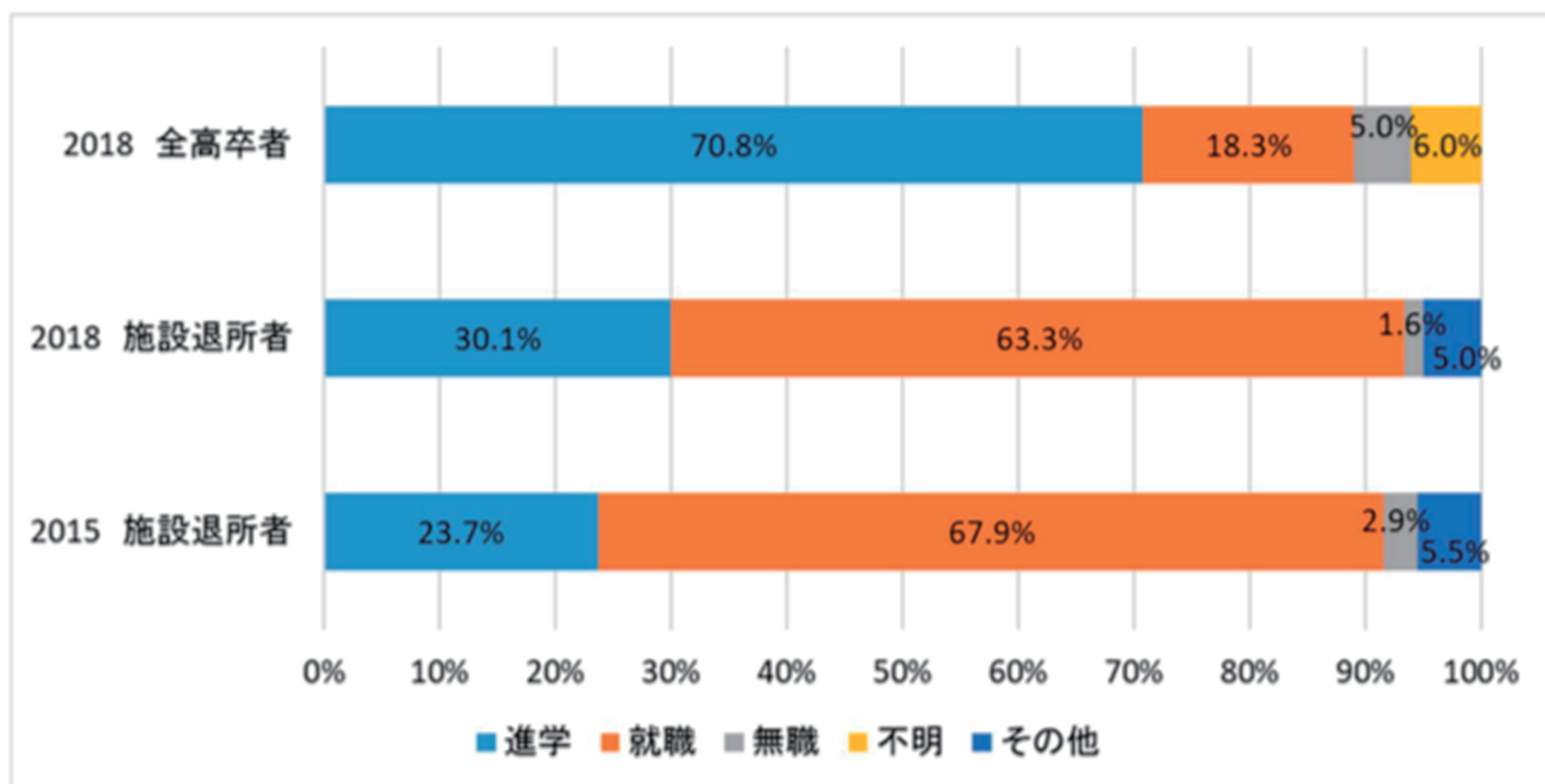
児童養護施設

- 社会的養護の施設の一つ。保護者のない児童や保護者に監護させることが適当でない児童に対し、安定した生活環境を整えるとともに、生活指導、学習指導、家庭環境の調整等を行いつつ養育を行い、児童の心身の健やかな成長とその自立を支援する施設（厚労省）
（※社会的養護：保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと）
- 北九州市内に7施設
- 半数以上の子どもが家庭等で虐待を受けた経験有
何らかの障がいをもつ子どもは「増加」傾向（もしくは「発見」）
→専門的なケアの必要性

【厚労省HP「社会的養護の施設等について」を参照】

参考：社会の中での施設経験者 施設退所者の進学率は依然低い

図表 1-2 2015年、2018年施設退所者と全高等学校卒業生との比較



出典：NPO 法人ブリッジフォースマイル,2018,『全国児童養護施設調査 2018 社会的自立に向けた支援に関する調査』：6.